

～先輩職員Interview～

※掲載者の所属(名)、職名は令和5年度時点のものです。

事務

現在の仕事内容を教えてください。

主に鳥取市の認可保育施設に通う児童の保育料の算定をしています。毎月入所する新規児童に保育料決定通知を发出するのに加え、4月と9月の保育料の切り替え時期には約7,000人の児童に保育料の決定通知を发出しています。

お金を扱う仕事なので、慎重に行う必要があります。また、毎月保育料の変更がある方の手続きも行うので、スピードと精度が求められる業務です。

鳥取市職員を志望した理由は？

大学進学時より上京していたのですが、2人目の子どもが生まれたことで、私自身が育った自然豊かな鳥取市で、両親の力を借りながら子育てをしたいと考えました。

また、前職では東京の放送局でラジオ番組の制作をしていたため、そのときに培った知識や発想力を鳥取市のために活かしたいと思ったからです。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

上司と相談しながら、ワークフローの見直しを行い業務の効率化を図るなど、いろいろなことに挑戦したり、発想力を活かしたりすることができます。

今年度は所属している幼児保育課の枠を越えて、地方創生・デジタル化推進室の職員と協力しながら、約7,000人の入所児童の保護者から提出していただく「世帯構成調査票」という申請書の電子化を行いました。電子化により紙を削減できたことに加え、各保育施設は保護者からの提出書類の管理や内容チェックなど、担当者は記載内容の転記や確認などの作業の削減ができ、何より市民の方にとっても手続きの利便性が向上したことで、いろいろな方面から反響をいただきました。

担当によっては、たくさんの市民の方や事業者に影響を与えることができる仕事です。

鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

制度が複雑になり、業務も多様化している中で、今まで先輩が築き上げてきたものを継承しつつ、新しいことに挑戦する力がより必要になってきていると思います。仕事を行う上でコミュニケーションはもちろん重要ですが、「いろいろな挑戦してみる!」「まずやってみる!」「いろいろな疑問を持ってみる!」ことがとても大切だと感じています。

皆さんと一緒に仕事できる日を楽しみにしています!



幼児保育課

山添 智史 主事
(令和3年度採用)



保健師

健康・子育て推進課

坂口 莉子 保健師
(令和2年度採用)

現在の仕事内容を教えてください。

母子保健と地域保健を担当しています。母子保健では、主に妊婦教室や父親教室、妊婦・乳児健康診査、子育てアプリ等に関する業務をしています。地域保健としては、担当地域の新生児訪問や生活習慣病予防のための教育や訪問などを実施しています。母子保健から成人保健まで、関わる方の年齢層や業務の幅は広いです。

鳥取市職員を志望した理由は？

元々生まれ育った馴染みのある鳥取市で働きたいと思っていました。また、身近にがんで亡くなる方があり、がんの早期発見や早期治療に向けた取組に携わりたいと思ったため、鳥取市の保健師を志望しました。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

妊娠期又は新生児期から、不安や悩みを抱えながらも一生懸命に育児に奮闘するご家族に継続的に関わり、サポートしていただけるのは保健師だけだと思うので、大きな魅力だと感じています。子どもの成長をご家族と一緒にあって応援することができるので、成長を感じた時はとても嬉しくやりがいを感じます。

健康・子育て推進課は、子どもの来所が多い部署なので、子どもの笑顔やエネルギーにいつも元気をもらえます。また、地域活動の中でも、市民の方が保健師を頼って相談してくださいったり、相談してよかったと声をかけていただいたりした時は、とても嬉しく仕事の原動力になっています。



鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

保健師の仕事内容は幅広く、また一筋縄でいかないことも多いです。大変な部分もありますが、他職種と連携しながら動くことが多く、様々な経験や知識を得ることができ、成長に繋がっていると感じます。悩むこともありますが、職場にはたくさんの心強い先輩方がおられるので、安心してください。みなさんと一緒に働ける日を心待ちにしています。